

授業科目名			履修対象学科クラス		履修期間				
Mac演習			1年 アパレル造形科パタンナーコース		期区分	通年	時間数	85	
選択区分	必修 or 選択		授業形態		企業連携(企業名)				
	必修		演習50%・実技40%・講義10%		なし				
科目概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト(Illustrator・Photoshop)・PowerPointの技術取得								
習得項目	Illustrator初～中級操作およびPhotoshop初級操作習得 PowerPointによるプレゼンテーションツール作成基本操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得								
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価								
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標						期間(月日)	
	1	授業内容説明・ソフトウェア使い方・設定方法						4月18日～4月25日	
	2	illustrator(図形描画・文字・カラー設定)						5月9日～5月16日	
	3	Illustrator(クリッピングマスク)						5月23日～5月30日	
	4	Illustrator(トレース)						6月6日～6月13日	
	5	Photoshop(基本ツール説明)						6月20日～6月27日	
	6	IllustratorとPhotoshopを使用したコラージュ作成課題						7月4日～7月11日	
	7	前期修了ショー リハーサル						7月25日	
	8	Photoshop(ブラシツール・歪みツール等)						9月5日～9月12日	
	9	Illustratorを使ったテキストスタイルデザイン課題						9月26日～10月17日	
	10	IllustratorとPhotoshopを使った企業ロゴ制作課題						10月31日～11月28日	
	11	Illustratorを使ったハンガーイラスト描画課題 Aクラス□						12月5日～12月19日□	
	12	Illustrator・Photoshopを使ったハンガーイラスト柄付け作業 Aクラス						1月16日～1月30日	
	13	ファッションショー期間						2月6日～2月13日	
	14	ファッションショー片付け日						2月20日	

授業科目名			履修対象学科クラス		履修期間			
トレンド分析			1年 アパレル造形科パターンナーコース		期区分	通年	時間数	85
選択区分	必修 or 選択		授業形態		企業連携(企業名)			
	必修		実技80%、講義20%		なし			
科目概要			既存のブランドや市場トレンドの分析を行うことで分析能力、ブランドの考え方や企画プロデュース能力を身につける。					
習得項目			ブランドや市場のトレンド分析を行うことでブランドに必要なコンセプトワーク、ブランディング等を演習し、実際に商品企画を行いMAP作成やプロデュース能力を身につける。また、それに付随する分析能力やビジネス用語を身につける。 実際にチームでブランド運営を行い、ブランディング、商品企画、プレス、販売までを一環して行いトレンド分析能力、ブランド企画、運営能力、コミュニケーション能力を身につける。					
評価方法			授業態度・MAP作成・トレンド分析時に使用する用語や企画のテスト、プレゼン、レポート。					
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)	
	1	オリエンテーション。1年を通しての課題説明。生徒の学びたいデザイン演習、自己紹介など。					4月18日	
	2	コンセプトMAP イメージMAP その他トレンド分析に必要な用語の説明。					4月25日	
	3	ホームページや課題作品例を通してブランドコンセプト、シーズンテーマの資料集めコンセプトMAP作成					5月9日	
	4	課外授業・マーケティング、価格、どんなアイテムがあるかを考察。					5月16日	
	5	課外授業 市場調査・分析 レポート作成					5月23日	
	6	課外授業の報告会 トrend分析MAP作成					5月30日	
	7	広告宣伝とは？それに基づいたPOP UP コラボレーション企画について					6月6日	
	8	アイテム構成について考察、作成。デザイン画作成。					6月13日	
	9	素材について、デザインに基付いた素材を考察。素材生地サーチ課外授業。					6月20日	
	10	デザイン画作成。カラー作成。修正等。					6月27日	
	11	仕様書の作成。					7月4日	
	12	各項目のまとめ、表紙、装丁など。					7月11日	
	13	プレゼン発表会。MAP提出。					7月25日	
	14	オリエンテーション。後期授業内容の説明。					9月5日	
	15	グループ、役割分担。チームにてブランディング資料の作成。					9月12日	
	16	コンセプトワーク ブランディングMAP イメージMAP 作成。					9月26日	
	17	広告、販促計画・出店計画					10月3日	
	18	スタイリング計画・MD計画・商品企画・数量設定					10月17日	
	19	デザイン画・仕様書作成					10月24日	
	20	ショッパース・間取り図作成・ショッピンテリア・プーニング					10月31日	
	21	事業計画(収支計画)					11月7日	
	22	グループごとにブランディングMAPプレゼン					11月14日	
	23	素材選び・材料買い出し					11月21日	
	24	制作					11月28日	
	25	企画商品制作					12月5日～1月16日	
	26	梱包・陳列・ショッパー準備、制作					1月23日	
	27	販売実習					1月30日	
	28	ブランディングまとめ					2月6日	
	29	ブランディングプレゼン・レポート提出					2月13日	
	30	片付け日					2月20日	
	31	補習日					2月27日	
講師区分	非常勤	講師名	渡邊		関係実務経験	アパレルデザイン企画歴20年		

[illegible]

授業科目名			履修対象学科クラス		履修期間			
ドレーピングⅠ			1年 アパレル造形科パタンナーコース		期区分	通年	時間数	95
選択区分	必修 or 選択		授業形態		企業連携(企業名)			
	必修		実技80%・講義20%		なし			
科目概要			寸法を元に行う平面製図ではなく、立体ボディーを使用し実際の布(シーチング)を当てて組み、型紙を作る					
習得項目			・布(シーチング)、ピンの扱いを学ぶ。 ・実際のボディーのフォルムに合わせながら、ライン、ダーツを取り形を表現していく。 ・ダーツを理解しながらパターンの仕組みを理解する。					
評価方法			1課題評価 フォルムに合わせてラインが見られているのか、布目が合っているのか、ピンの打ち方、布の扱い方等。 2授業態度 出席率・集中度等。 ＊総合評価100ポイント。成績評価が60点未満の場合は補習の対象。					
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)	
	1	オリエンテーション					4月12日	
	2	ピンクッション					4月19日	
	3	トートバッグ					4月26日	
	4	ドレーピングについて、地の目直し					5月10日	
	5	前・後原型1 サイドダーツ					5月17日～6月7日	
	6	前・後原型2 ショルダーダーツ					6月14日～7月5日	
	7	トレース					7月12日～7月26日	
	8	セミタイトスカート 前身頃					9月6日～9月13日	
	9	〃	後ろ身頃				9月13日～9月20日	
	10	〃	線入れ・カット				9月27日	
	11	〃	ベルト・組み立て				10月4日～10月11日	
	12	ヨーク・フレンチスリーブブラウス 前ヨーク					10月18日	
	13	〃	前身頃				10月25日	
	14	〃	後ろヨーク				11月1日	
	15	〃	後ろ身頃				11月8日	
	16	〃	線入れ・カット				11月15日	
	17	〃	組み立て				11月22日～11月29日	
	18	ショールカラーブラウス 続きヨーク					12月6日	
	19	〃	前身頃				12月13日	
	20	〃	後ろ身頃				12月20日	
	21	〃	線入れ・カット				1月17日	
	22	〃	組み立て				1月24日	
	23	〃	衿				1月31日～2月28日	

授業科目名			履修対象学科クラス			履修期間				
スタイル画			1年 アパレル造形科パタンナーコース			期区分	前期	時間数	35	
選択区分	必修 or 選択		授業形態			企業連携(企業名)				
	必修 or 選択		実技実習			なし				
科目概要	1.基本デッサンで造形力・視覚的感性の向上をはかりバランス感覚やセンスを磨く。 2.ファッションスタイル画の描画テクニックと表現力を身につける。(コンテスト作品分析)									
習得項目	ファッションスタイル画表現技法 デザイン、ドローイング用具の使い方									
評価方法	授業姿勢、製作課題・作品評価									
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標							期間(月日)	
		授業オリエンテーション・デッサン用具準備							4月13日	
	1 ベーシック トレーニング	石膏デッサン(構図・描き始め)デモンストレーション							4月21日	
		石膏デッサン(大きな形と修正)							4月27日	
		石膏デッサン(陰影の作り方)							5月12日	
		石膏デッサン(描き込み)							5月19日	
		石膏デッサン(細部・仕上げ)							5月26日	
		人物クロッキー会(人物全身構図・バランス・造形の捉え方)							6月2日	
	2 表現 トレーニング	スタイル画(基本フレーム・ヌード9頭身)							6月9日	
		スタイル画(スタイル画模写)							6月16日	
		スタイル画(フリーポーズ・着装・衣服の動き)							6月23日	
		スタイル画(共通モチーフ・モノトーン淡彩着彩)							6月30日	
		スタイル画(マーカー着彩)							7月7日	
		スタイル画(コラージュ①)							7月14日	
		スタイル画(コラージュ②)							7月21日	
								</		

授業科目名			履修対象学科クラス		履修期間			
服飾史			1年 アパレル造形科パタンナーコース		期区分	前期	時間数	35
選択区分	必修 or 選択		授業形態		企業連携(企業名)			
	必修		オンライン講義		なし			
科目概要	古代から現代までの洋服の歴史を知る。素材、形、構造など。							
習得項目	作品製作において資料として活用する。 現代の衣服に置き換えて考える。 デザインの参考にする。							
評価方法	レポート、課題提出。 平常点 以上の平均点							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標						期間(月日)
	1	衣服の起源						4月15日
	2	衣服の形 素材						4月22日
	3	古代エジプト メソポタミア						5月6日
	4	古代ギリシャ ローマ						5月13日
	5	ビザンチン ロマネスク						5月20日
	6	ゴシック ルネサンス						5月27日
	7	バロック ロココ						6月3日
	8	フランス革命 ナポレオン レポート課題						6月10日
	9	近代 市民革命						6月3日
	10	世紀末						6月24日
	11	20世紀						7月1日
	12	アールヌーボー アール・デコ						7月8日
	13	1930年代						7月15日
	14	第二次世界大戦						7月22日

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間		
デザイン演習		1年 アパレル造形科パタンナーコース		期区分	後期	時間数 57.5
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)		
	必修	実習実技		なし		
科目概要	想像力、造形的バランス感覚を身につけ 自身のクリエイションについて、プレゼンテーション力を養う。					
習得項目	ファッション用語、素材やテクニックへの知見を高め、イメージと表現力を身につける。 様々な視点による課題解決、プレゼン力を身につける。 アパレル用語(デザイン・アイテム名称)の知識習得					
評価方法	授業姿勢、製作課題評価					
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)
	1 表現 トレーニング	ペーパーアート(ヘッドドレス①課題説明・デザイン考察)				9月1日
		ペーパーアート(ヘッドドレス②デザインラフ・テクニカル検証)				9月8日
		ペーパーアート(ヘッドドレス③作品製作)				9月15日
		ペーパーアート(ヘッドドレス④作品製作)				9月22日
		ペーパーアート(ヘッドドレス⑤作品製作・仕上げ)				9月29日
		作品撮影・ポートフォリオ				10月6日
		ポートフォリオ製作①(テーマ・コンセプト・イメージ収集)				10月13日
		ポートフォリオ製作②				10月20日
		講評会(ペーパーアート)				11月10日
	2 応用表現	基礎科ショー・デザイン考察				11月17日
		〃				11月24日
	3 基礎知識	講座「アパレル・デザイン①」著名なコレクション				12月1日
		講座「アパレル・デザイン②」製品デザイン(仕様書・生産技術)				12月8日
		講座「アイテムデザイン」製品デザイン①(ニット、カットソー)				12月15日
		講座「アイテムデザイン」製品デザイン②(布帛トップス)				12月22日
		講座「アイテムデザイン」製品デザイン③(ボトムス)				1月12日
		終了テスト(アパレル用語試験「デザイン・アイテム名称」)				1月19日
		追試・テスト返却				1月28日
講師区分	常勤	講師名	石川	関係実務経験	国内アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験を持ち、実務の経験からスタイル画表現について指導する。	

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間				
就職ガイダンス		1年 アパレル造形科パタンナーコース		期区分	後期	時間数	60	
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)				
	必修	オンライン講義		株式会社アズノウアズ				
科目概要		就職へ向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的な流れ・知識を身につける。						
習得項目		自己分析や企業・職種研究によって仕事への理解を深め、希望する企業や職種を定める。年々早まる採用スケジュールと足並みをそろえた就職活動を行えるよう、採用試験に関する基本的な知識を身につける。						
評価方法		各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。 (出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)		
	1	オリエンテーション(授業説明、就活の流れ、就職意識調査)				9月2日		
	2	業界研究:アパレル業界の職種、業種について				9月9日		
	3	業界研究:衣装関係の職種、仕事の流れ				9月16日		
	4	企業研究:企業情報の調べ方、求人情報の見方				9月30日		
	5	バス遠足				10月7日		
	6	ビジネスマナー(挨拶、姿勢、服装、コミュニケーションの常識)				10月14日		
	7	自己分析:マインドマップの作成				10月21日		
	8	自己分析:過去エピソードの整理				10月28日		
	9	運動会				11月4日		
	10	卒業生による仕事紹介				11月11日		
	11	ビジネスマナー(メールの送り方)、マイナビ登録				11月18日		
	12	履歴書作成(記入ルール、注意事項)				11月25日		
	13	内定者の就職体験談				12月2日		
	14	ポートフォリオ作成について、準備の仕方				12月9日		
	15	選考課題、実技試験について、準備の仕方				12月16日		
	16	WEBエントリーシート、説明会やインターンへの参加手順				12月23日		
	17	自己PR、長所の書き方				1月13日		
	18	志望動機の書き方				1月20日		
	19	企業説明会				1月27日		
	20	FS期間				2月3日～3月3日		
講師区分	常勤	講師名	久野	関係実務経験	パタンナー、衣装製作、イラストレーター及び、雑誌・webメディアの編集・ライター実務経験者			

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間				
ファッション素材学		1年 アパレル造形科パタンナーコース		期区分	後期	時間数	60	
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)				
	必修	オンライン講義		なし				
科目概要	アパレル製品の素材としての繊維、糸、布地を理解し製作、販売、コーディネートに役立てる。 繊維、生地の名前を知る。 教科書 わかりやすいアパレル素材の知識							
習得項目	繊維の分類、種類、特性を知る。 生地、製品の取り扱い方、特性を知る。							
評価方法	レポート、提出物 平常点 以上の平均点							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)		
	1	アパレル素材とは 1				9月2日		
	2	アパレル素材とは 2				9月9日		
	3	繊維の分類 名称 天然繊維				9月16日		
	4	繊維の分類 名称 化学繊維				9月30日		
	5	糸について				10月7日		
	6	織物の三原組織				10月14日		
	7	基本的な柄の名前				10月21日～10月28日		
	8	秋冬の布				11月4日		
	9	編み物について レポート 素材の扱い				11月11日		
	10	裏地 芯地について				11月18日		
	11	加工について				11月25日		
	12	デニムとジーンズ				12月2日		
	13	レースについて レポート 2 リサーチ				12月9日		
	14	皮と毛皮				12月16日		
	15	不織布 フェルト				12月23日		
	16	染色 プリント				1月13日		
	17	繊維の見分け方				1月20日		
	18	新しい素材				1月27日		
	19	FS期間				2月3日～3月3日		
講師区分	常勤	講師名	古賀	関係実務経験	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家			

授業科目名		履修対象		履修期間			
PCワーク		2年 アパレル造形科パタンナーコース		期間区分	後期	時間数	52.5
選択区分	履修区分	授業形態		企業連携(連携企業)			
	必修	講義50%、実技50%		なし			
科目概要	Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト(Word・Excel・Powerpoint)の使い方の習得。 基本的なタイピングからWordを使ったプレスリリースの作成技術を身に付け、 Excelを使って表やグラフを作成できるようにし、文章・表・グラフの作成技術を応用し Powerpointを使って効果的なプレゼンテーションを行うことの習得を目指す。						
習得項目	1.Windowsパソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2.Wordによる基本的な文章作成を行えるようにする。 3.Excelを使った表やグラフの作成、関数を使った収支表の作成方法を身に付ける。 4.Powerpointを使ったプレゼンテーションデータを作成し、それを使ったプレゼンテーションを行う。						
評価方法	授業態度、提出物、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。						
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標					期間(月日)
	1	Windowsパソコンの基本操作・タイピングの基本					9月5日
	2	Wordを使ったビジネス文章作成・商品クレジットの入力					9月12日
	3	Wordを使った画像・表入り文章の作成					9月26日
	4	Wordを使ったプレスリリースの作成・PDFデータへの変換					10月3日
	5	Excelを使った表の作成(罫線の引き方・セルの色塗り)					10月17日
	6	Excelを使った四則計算を含んだ請求書の作成					10月24日
	7	Excelを使った関数を含んだ表の作成(SUM・AVERAGE等)					10月31日
	8	Excelを使ったグラフの作成(円・棒グラフ)					11月7日
	9	Excelを使ったグラフの作成(折れ線グラフ・行と列の入れ替え)					11月14日
	10	Excelを使ったグラフを含めたレポート文書の作成					11月21日
	11	Powerpointを使ったプレゼンデータの作成(課題発表・基本)					11月28日
	12	Powerpointを使ったプレゼンデータの作成(アニメーション、発表者ツールの使い方)					12月5日
	13	PowerPointの発表					12月12日
	14	Word・Excelの復習(総ざらい)					12月19日
	15	Word・Excelのテスト					1月16日
	16	ビジネスメールの作成・送受信(添付ファイルの容量)					1月23日
	17	Wordを使ったファッションショーの招待状＋添え状の作成					1月30日
	18	ショー準備期間					2月6日
	19	ショー準備期間					2月13日
	20	ショー片付け日					2月20日
	21	補習期間					2月27日
講師区分	常勤	講師名	鶴本	関係実務経験	企業向けのWindows操作講習会実施や入社研修でのIT技術指導の経験		

授業科目名		履修対象		履修期間			
アパレルCAD実習		2年 アパレル造形科パタンナーコース		期間区分	通年	時間数	85
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(連携企業)			
	必修	実技80%・講義20%		なし			
科目概要	ショートカットキーの基礎トレーニングをしてから、各アイテムの製図をしながら、正確にパターンメイキングをしていく技術を身に付けると共に、スピードアップの訓練をして行く。						
習得項目	1、全てのショートカットキーを把握する。 2、PC画面上でパターン全体の実寸イメージを描くことが出来る。 3、製図のスピードを速める訓練の効果が出ている。						
評価方法	1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績□						
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標					期間(月日)
	1	CAD基本操作説明・練習					4月18日
	2	池田第一原型作成					4月25日
	3	各自、個人第一原型を作成					5月9日
	4	池田第二原型作成					5月16日
	5	各自、個人第二原型を作成					5月23日
	6	基本型ブラウス製図					5月30日
	7	ジーンズ製図					6月6日
	8	ジーンズ製図					6月13日
	9	ジーンズ製図・プロダクトパターン作成・プロットアウト・マーキング					6月20日
	10	シャツ 製図					6月27日
	11	シャツ 製図					7月4日
	12	シャツ 製図・プロダクトパターン作成・プロットアウト・マーキング					7月11日
	13	基本型4面ジャケットを製図					9月5日
	14	〃					9月12日
	15	〃					9月26日
	16	〃					10月3日
	17	〃					10月17日
	18	基本型3面構成ジャケット製図					10月24日
	19	〃					10月31日
	20	〃					11月7日
	21	〃					11月14日
	22	プロダクトパターン作成・マーキング					11月21日
	23	〃					11月28日
	24	卒業製作としてオリジナルデザインの服を上下製図□					12月5日
	25	〃					12月12日
	26	〃					12月19日
	27	トワルチェック後、CADで補正・工業用パターン作成					1月16日
	28	〃					1月23日
	29	〃					1月30日
		また就活用として前期内に、就職実践講座にて、パタンナーコースは、生産管理の仕事内容についての説明をし、					
		縫製指示書・ハンガーイラスト・マーキング及びグレーディング方法をCADにて指導して行きます。(火曜日の午後)					
講師区分	常勤	講師名	リビ裕子	関係実務経験	アパレル企業でパタンナー5年、服飾系専門学校講師歴 継続して40年		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間				
職業実践・企画・トレンド		2年 アパレル造形科パタンナーコース		期区分	通年	時間数	190	
選択区分	必修 or 選択		授業形態		企業連携(企業名)			
	必修		実技60% 講義40%		(株)アミナコレクション (株)クレヨン			
科目概要	トレンドやマーケットの流れをとらえ、ブランドのコンセプトやマーケットでのポジショニングを理解し商品企画を行う。 企業の仕事についての理解を深めるため、実践的に産学授業を取り込みアパレル業界の今を体験する。							
習得項目	1.コレクションブランド分析を行い、ファッショントレンドの流れの把握と産学先のブランドに対しての知識習得。 2.今シーズンのトレンドの流れを踏まえ、ブランド企画力を養う(ポートフォリオ作成)/プレゼン能力習得 3.デザイナー、テクニカル科は企画スキル向上、パタンナー科はCADスキル向上							
評価方法	各項目に標準点を置き「授業態度・製作意欲・習熟度」100ポイントを担当講師採点。 「課題評価」100ポイントを連携企業採点として、その平均値を算出し評価を行う。 (出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)	
	1	授業内容説明・スケジュール確認等 / ポートフォリオ作成説明					4月19日	
	2	(株)アミナコレクション 課題説明 「今年らしいエスニックスタイルの提案(仮)」					4月26日	
	3	(株)アミナコレクション ショップリサーチ・課題ワーク / ポートフォリオ作成					5月10日～5月31日	
	4	(株)アミナコレクション プレゼン/レポート/ グループディスカッション練習					6月7日～6月21日	
	5	(株)クレヨン 課題説明 「2022AW ロイスクレヨンデザインの提案(仮)」					6月28日	
	6	(株)クレヨン ショップリサーチ・課題ワーク / 企業選考対策の課題作成					7月5日～7月19日	
	7	(株)クレヨン プレゼン/レポート					9月6日～9月20日	
	8	(株)ベネフィット 課題説明 「課題内容検討中」 / ブランド企業課題説明					9月27日	
	9	(株)ベネフィット ショップリサーチ・課題ワーク / ブランド企業課題準備・プレゼン					10月4日～11月15日	
	10	(株)ベネフィットプレゼン/レポート					11月22日～11月29日	
	11	(株)アズノウアズ 課題説明 「リメイク 課題内容検討中」					12月6日	
	12	(株)アズノウアズ ショップリサーチ・課題ワーク / SDGs関連事業講義・課題					12月13日～1月17日	
	13	(株)アズノウアズ プレゼン/レポート					1月24日～1月31日	
	14	DPTショー準備期間					2月1日～	
講師区分	常勤	講師名	吉岡/リビ/久野	関係実務経験	MD/デザイナー経験、他			

授業科目名		履修対象		履修期間			
服飾造形実習		2年 アパレル造形科パタンナーコース		期間区分	前期、後期 I	時間数	265
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(連携企業)			
	必修	実技80%・講義20%		なし			
科目概要	1.ジーンズ・シャツの製図・オリジナルデザインにアレンジして造形 2.総裏仕立て4面構成ジャケット製図、総裏仕立て3面構成ジャケット製図 3.オリジナルデザインジャケット製図・造形 4.ディティールの部分縫い						
習得項目	1、各アイテムの基本シルエットを理解し、応用デザインの製図が出来る。 2、各アイテムの基本縫製を理解し、応用デザインの縫製も出来る。						
評価方法	1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績						
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標					期間(月日)
	1	ジーンズ製図(基本型シルエット)1/2サイズ、(自己サイズシルエットを実寸大で)					4/13～4/15
	2	シーチング仮縫い・補正、パターントレース					4/20～4/22
	3	ジーンズのディティール製図(基本型・自己サイズ)、工業用パターン作成					4/27～5/6
	4	ジーンズ縫製 生地裁断・芯貼り・ロックがけ					5/11～5/13
	5	ジーンズ縫製・完成・提出まで					5/18～5/20
	6	採寸後、自分の第一・第二原型を作成してから、シャツの製図1/2サイズ					6/1～6/3
	7	シャツの製図自分のサイズでオリジナルデザイン・工業用パターン					6/8～6/10
	8	シャツ縫製 生地裁断・芯貼り					6/15～6/17
	9	シャツ縫製 本縫い					6/22～7/15
	10	シャツ縫製 本縫い・仕上げ・提出					7/20～7/22
	11	基本型4面構成ジャケット製図					9/1～9/7
	12	基本型3面構成ジャケット製図					9/8～9/14
	13	自分の原型を使用し、3・4面構成のどちらかを選んで製図					9/15～9/21
	14	シーチング裁断・ミシン縫い・仮縫いチェック・補正					9/22～9/29
	15	オリジナルデザインジャケットにアレンジしてパターンを完成・工業用パターンを作成					9/30～10/6
	16	シーチングのジャケットを使って部分縫い(ポケット・袖口あき見せ・ベント)					10/12～10/14
	17	生地裁断(表地・裏地・芯地)・芯貼り・テープ貼り					10/19～10/21
	18	本縫い					10/26～11/25
	19	〃 完成・次週内提出					11/30
講師区分	常勤	講師名	リビ裕子	関係実務経験	アパレル企業でパタンナー5年、 服飾系専門学校講師歴 継続して40年		

授業科目名		履修対象		履修期間			
卒業製作実習		2年 アパレル造形科パタンナーコース		期間区分	後期Ⅱ	時間数	112.5
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(連携企業)			
	必修	実技80%・講義20%		なし			
科目概要	卒業作品制作をする。						
習得項目	1、各アイテムの応用デザインの製図が自由に出来る。 2、各アイテムの応用デザインの縫製も工夫が出来るようになる。						
評価方法	1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績						
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				期間(月日)	
	1	卒業作品のデザインに基づき、各アイテムの製図や素材加工などの試作をする。				12/1～12/7	
	2	トワルチェック・補正・工業用パターン作成				12/8～12/14	
	3	生地裁断・芯貼り・ロックかけなど本縫いの準備をする。				12/15～12/21	
	4	本縫い				12/22～1/11	
	5	〃				1/12～1/18	
	6	〃				11/19～1/26	
	7	〃 付属品などの小物類を制作し、全てを完成させる。				1/27	
	講師区分	常勤	講師名	リビ裕子	関係実務経験	アパレル企業でパタンナー5年、 服飾系専門学校講師歴 継続して40年	

授業科目名		履修対象	履修期間				
就職キャリアデザイン		2年アパレル造形科パタンナーコース	期間区分	前期	時間数	32.5	
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(連携企業)				
	必修	講義(オンライン)80 演習(対面)20	株式会社エス・グルーヴ、他				
科目概要	自己理解と自己分析を進め、自己効力感を高めていく。人生百年時代を迎え変化の激しい時代に対して、より良い進路を選択し、就職及びキャリア形成のために必要な知識とマナーを習得する。						
習得項目	自己理解に時間をかける。就職活動の際に必要な、書類作成の手順や面接マナーを学び、志望企業の内定獲得を目指す。面接対策では学生同士で模擬面接を行こない、一般的な面接の流れを理解する。また、国際社会や業界への理解を深めることで、就職後のキャリア形成に役立つ知識を身につける。						
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「模擬面接」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。						
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				実施予定日	
	1	自己理解・自己分析の進め方、適性テストも交えて自分自身の理解と自己効力感を高める作業を行う。				4月18日	
	2	効果的な自己PRの作成の仕方、自己PR文の作成演習				4月25日	
	3	応募書類作成(各項目の記述解説)				5月9日	
	4	応募、エントリー情報の調べ方、求人票のチェックポイント				5月16日	
	5	企業説明会(株式会社エスグルーヴ、他)				5月23日	
	6	web面接練習(1分自己紹介)				5月30日	
	7	面接解説(よくある出題と対策)				6月6日	
	8	web面接対策(一般的なweb面接ツールの解説、マナー指導)				6月13日	
	9	模擬面接【対面＋オンライン】				6月20日	
	10	今後の世界情勢、国内情勢からキャリアの組み立てを考える				6月27日	
	11	業界研究、企業研究の進め方				7月4日	
	12	今後の就職活動、転職、キャリアアップについて(課題発表)				7月11日	
		学校行事				7月25日	
	担当教員						
	講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	副田 勝久	都内百貨店に勤務し、アパレル販売、バイヤー、催事担当、社員教育等の実務経験を有する。				○	

授業科目名		履修対象		履修期間			
工業パターン実習		2年 アパレル造形科パタンナーコース		期間区分	通年	時間数	92.5
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(連携企業)			
	必修	実技80%・講義20%		なし			
科目概要	(試験) パターン検定2級・3級のテキストを使用して、パターン展開の基礎から、応用までのパターンメイキングを指導する。 筆記試験の問題集をもとに、マークシート100問の練習をさせる。 実技試験は、実寸製図・シーチングのピン組み立て・完成パターン作成の指導をする。 (実習)						
習得項目	1.パターン検定2級・3級の筆記・実技試験に合格をする。 2.今まで習得した知識を基に、オリジナルデザインの服の製図が出来る。 3.アウターのディティールのパターンが理解できる。 4.工業用パターン作成時、ミスが無いように作成出来る。						
評価方法	1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績						
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標					期間(月日)
	1	パターン検定の受験の仕方と勉強方法について説明					4月14日
	2	ブラウス製図 1.					4月21日
	3	シーチングのピンん組み立て					4月28日
	4	完成パターンの作成を練習する					5月12日
	5	ブラウス製図 2.					5月19日
	6	シーチングのピンん組み立て					5月26日
	7	完成パターンの作成を練習する					6月2日
	8	ジャケットの製図					6月9日、16日
	9	シーチングのピンん組み立て					6月23日、30日
	10	シーチングのピンん組み立てチェック修正					7月7日
	11	完成パターンの作成を練習する					7月14日、21日
		パターン検定2級を受ける2・3年生には、夏休みに実技指導を5～6回行います。					8月
	12	パターン検定2級の実技模擬試験を行う					9月1日、8日
	13	オリジナルデザインジャケットの製図					9月15日、22日
	14	シーチングピン組み立て					9月29日
	15	シーチングピン組み立てチェック					10月6日
	16	工業用パターン作成					10月13日、20日
	17	パターン検定3級課題ブラウスの製図1.	この時点でPM検定2級の合否がまだ出ていない。				10月28日
	18	パターン検定3級課題ブラウスの製図2.					11月11日
	19	シーチングピン組み立てチェック・確認					11月18日
	20	パターン検定3級の模擬試験を行う					11月25日
	21	オリジナルデザインの服を製図をする。					12月1日、8日
	22	シーチングにトレース・裁断					12月15日
	23	シーチングをミシン縫いして仮縫いチェックを受ける。					12月22日
	24	CADにスキャニングする。					1月12日
	25	CADでディティールのパターン作成					1月19日
	26	CADで全ての工業用パターンを作成					1月26日
講師区分	常勤	講師名	リビ裕子	関係実務経験	アパレル企業でパタンナー5年、 服飾系専門学校講師歴 継続して40年		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間				
卒業制作ファッションショー制作実習		2年 アパレル造形科パタンナーコース		期区分	前期	時間数	35	
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)				
	必修	実技80%・講義20%		なし				
科目概要	ショー企画、全体会議 ファッションショーのテーマ及びカテゴリー名を考える。衣装デザインを準備する。							
習得項目	話し合いの協調性・自己主張・デザインの発想力を養う。							
評価方法	話し合いの協調性・自己主張・デザインの発想力での評価							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)		
	1	リーダー決定・全体テーマ出し				4月15日		
	2	仮決定・プレゼンテーションを準備する。理事長にプレゼンテーションをする。				4月22日～5月20日		
	3	カテゴリー案出し。仮決定。				5月27日～6月10日		
	4	担当分け。プレゼンテーションを準備。理事長にプレゼンテーションをする。				6月17日～6月24日		
	5	カテゴリーごとに分かれて打ち合わせをする。				7月1日～7月15日		
	6	ラフな卒制デザイン画提出				7月22日		
	講師区分	常勤	講師名	鷺 .花澤. 内山. ジョノー	関係実務経験	コレクションブランドのデザイナー、舞台衣装のデザイナー、他		

授業科目名		履修対象		履修期間			
ドレーピングⅡ		2年 アパレル造形科パタンナーコース		期間区分	後期	時間数	60
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(連携企業)			
	必修	実技80％・講義20％		なし			
科目概要	1.ドレーピングの基礎を復習 2.ブラウスのドレーピング 3.ワンピースのドレーピング 4.ジャケットのドレーピング 5.テーラードカラーのドレーピングをする						
習得項目	1.デザインによる、ピン打ちテクニックの習得 2.洋服の緩みを入れながら、各アイテムのシルエットを立体裁断で具現化して形つくる。 3.ドレーピング後に、シーチングのラインチェック&パターン用紙にトレースをしてから再度ピン組み立てをして確認し、初めて完成となる事を学ぶ。 4.アウターのピン打ちテクニックの習得 5.洋服の緩みを考えながら、アウターのシルエットをドレーピングで形つくる。						
評価方法	1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績						
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				期間(月日)	
	1	ドレーピングの基礎練習(簡単にダーツ・フリル・ギャザー・フレアーのピン打ち練習)				9月2日	
	2	ブラウスのドレーピング、緩みを入れながら、身頃を作成し、AH(アームホール)を描く。				9月9日	
	3	〃、袖の製図と袖付けのピン打ちを学ぶ				9月16日	
	4	〃、襟付け(フラットカラー)のピン打ちを学ぶ				9月30日	
	5	ワンピースのドレーピング、身頃はPLでローライズ切り替え・衿はフラットカラー・袖は袖口カフス付きパフスリーブ				10月14日	
	6	〃				10月21日	
	7	〃				10月28日	
	8	〃、チェック後シーチングを外してライン修正・縫い代整理・パターン用紙にトレースする				11月11日	
	9	〃				11月18日	
	10	〃、再度ボディにピン打ちして完成・採点				11月25日	
	11	2面構成ジャケットのドレーピング 前身頃・後身頃				12月2日	
	12	〃、AH(アームホール)を描く				12月9日	
	13	テーラードカラーのドレーピング				12月16日	
	14	一度外して、縫い代整理・製図用紙にトレース				12月23日	
	15	再度ボディにピン組み立て・二枚袖の製図				1月13日	
	16	〃 二枚袖をシーチングにトレース&裁断				1月20日	
	17	袖付けのピン打ち 採点				1月27日	
講師区分	常勤	講師名	リビ裕子	関係実務経験	アパレル企業でパタンナー5年、 服飾系専門学校講師歴 継続して40年		